

開かれた議会、市民により身近な議会 ～意見交換会を実施～

建設経済委員会と若手を中心とした農業者との意見交換会 (令和4年10月27日)

- 【テーマ】 持続可能な農業の在り方について
【出席者】 若手を中心とした農業者10名
【内 容】 農業の現状から見える課題についての意見交換会を実施した。
【場 所】 議会第1委員会室

◆出席者からの意見（主なもの）

- ・メロンは、ブランド力は高いものの、認知度を高める必要がある。海外輸出に力を入れることも重要。
- ・お茶は、バラエティに富んだお茶の特徴を上手くPRしていくことが必要。茶商だけでなく、エンドユーザーや海外需要を見据えた経営戦略も必要である。
- ・米は、後継者が少なく、地域・行政も一体となって集積・集約を考えていくことが重要。土壌に適した高収益の転作作物についての研究も必要である。
- ・施設野菜などは、現場の需要にマッチするスマート農業の技術開発などの支援が必要。新規就農者に対しては、継続的に経営できるよう販路確保などに対する助言も必要である。



地元高校生との意見交換会（令和4年12月21日）

袋井特別支援学校高等部、袋井高校で開催し、いずれも「袋井市・わがまちを住みよいまちにするために、現在、今後何が必要か」をテーマにグループワークを行いました。

生徒などが考える“住みよいまち” そのために“今後何が必要か”について発表いただき、その内容をもとに活発な意見交換がなされ、最後に各グループにおける話し合いの内容が発表されました。

◆高校生からの意見（主なもの）

- ・活気づいたまちにするために、SNSを活用してまちの情報を積極的にPRする。
- ・ごみが落ちていないまちにするために、ごみの捨て方の周知や学校、地域で美化運動をする。
- ・安全に暮らせるまちにするために、交通ルールの周知や信号機、横断歩道、外灯を増やす。

なお、袋井商業高校からは、後日、テーマに関する意見をいただき、袋井市議会としてまとめ回答していきます。



グループワークの様子
(袋井特別支援学校高等部)



グループワークの様子
(袋井高校)

若者たちの思いや柔軟な発想を今後の施策に反映できるよう、今回の意見なども参考に議会活動に努めてまいります。